安全で安心できる地域づくり

自然災害の被害軽減 → 安心できる暮らしの確保

○河川改修、ダム建設による洪水被害の軽減
- ・長井、摺上川、森吉山ダム本体工事
- ・北上川上流砂鉄川床上浸水対策
- ・大久保堰改築事業

○砂防関係施設の整備による土砂災害の被害軽減
- ・月山重荒廃対策
- ・道上沢通常砂防事業
- ・泊山雪崩対策事業

○下水道整備による都市部の浸水被害の軽減

○道路防災・震災対策の実施

○湾口防波堤整備による津波被害の軽減
- ・久慈港、釜石港

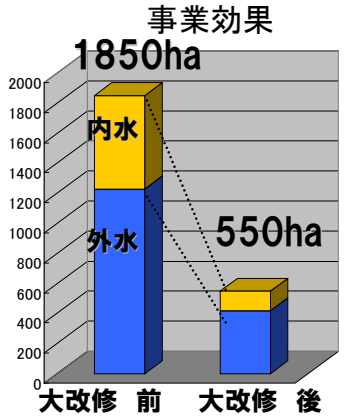
○耐震バースの整備
- ・青森港、酒田港、相馬港　等



阿武隈川平成の大改修における事業実施例

平成10年洪水浸水状況

平成の大改修による築堤掘削状況





平成10年８月洪水に対し、　浸水面積：1,850ha→550ha**(約３割に減少)**

安全で安心できる地域づくり

統合のメリットを活用した連携

消流雪用水導入事業と道路事業の連携

○消流雪用水導入と流雪溝の整備

・青森県五所川原市

・山形県大石田町

○歩道消融雪施設の整備

・青森県青森市

・福島県会津若松市

冬期生活環境の改善

〔青森県弘前市における冬期生活環境の改善事例〕

消流雪用水導入事業 一体的に整備 道路事業 流雪溝等の整備



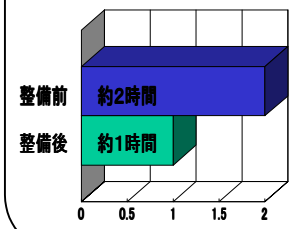
整備前



整備後

整 備 効 果

除雪の作業時間が短くなります



・交通混雑の緩和

・交通安全の確保

・除排雪作業の軽減

冬期における安全で快適な生活環境の実現

強い東北の創造

統合のメリットを活用した連携

道路と港湾・空港の連結・連携

効率的な物流の実現

H14供用予定

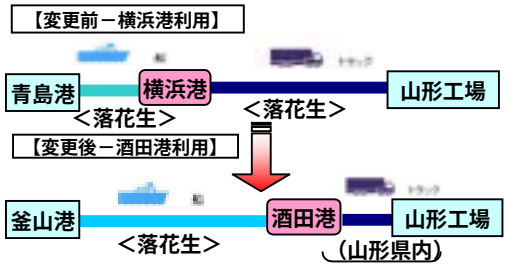
- **R4花巻東BP**(L=4.2kmH14供用)
- **東北横断自動車道釜石秋田線**
  (東和IC～花巻JCT(仮))(H14供用)
- **一般県道東宮野目二枚橋線**
  (L=0.3kmH14供用)

↳ 花巻空港・釜石港

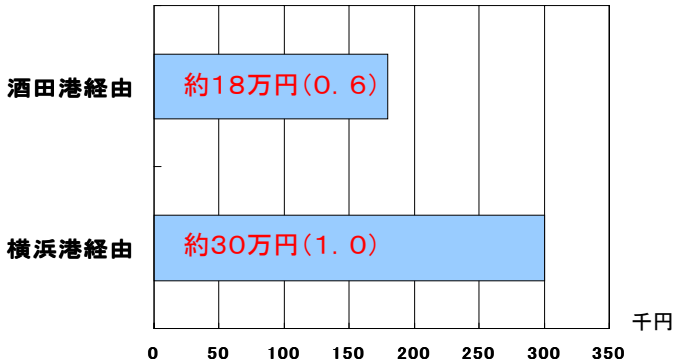
- **R7青森環状道路**(L=3.4kmH14供用)
- **(主)青森浪岡線**(L=0.6kmH14供用)

↳ 青森港・青森空港

酒田港利用による物流コストの低減事例



山形市～釜山港のコンテナ運賃の比較



道路整備 ＋ 港の整備

便利になった・安くなった

酒田港の利用促進・コスト削減

強い東北の創造

統合のメリットを活用した連携

雇用の創出①

・R4花巻東バイパス
・一般県道東宮野目二枚橋線
・R283高木拡幅
花巻流通業務団地の
就業計画人口1，600人
の雇用の創出を支援

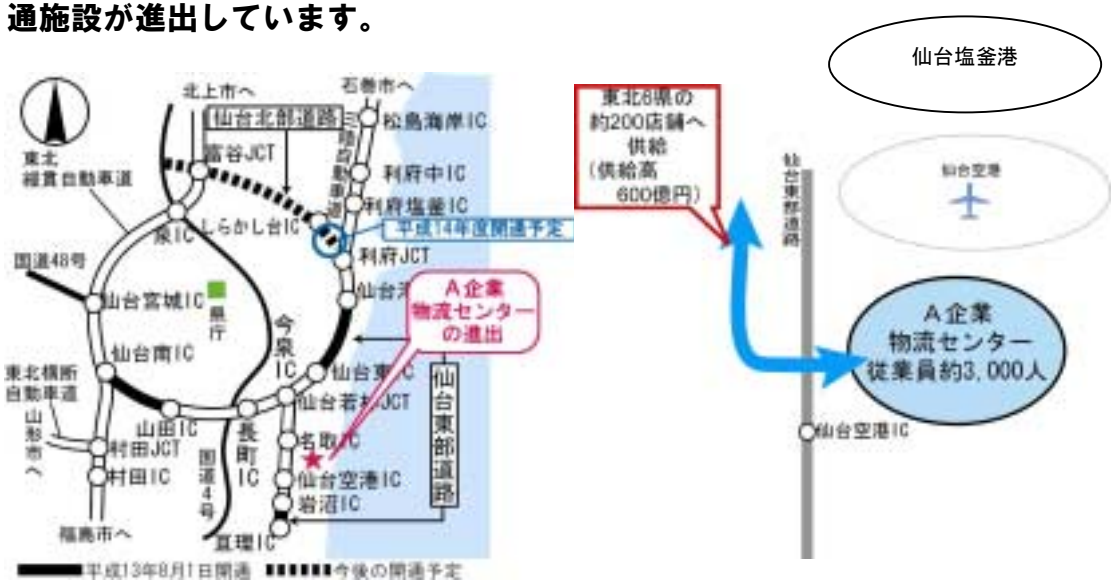
・R4岩手県岩手町道の駅
「石神の丘」他
地場産品の開発、販売
促進等による雇用の創出
を支援

環状道路の整備による新たな物流ネットワークの構築

企業立地の進展

仙台都市圏自動車専用道路網の整備により、東北各地の拠点と物流拠点である空港・港湾が連結し企業の流通施設が進出しています。

A企業の事例
- ○高速道路ネットワークを活用した新たな物流センター
- ○物流センターの統合によるコストの縮減



供給高 約600億円

雇用の拡大

関連企業も含めて 約3,000人規模の新規雇用

強い東北の創造

統合のメリットを活用した連携

雇用の創出②

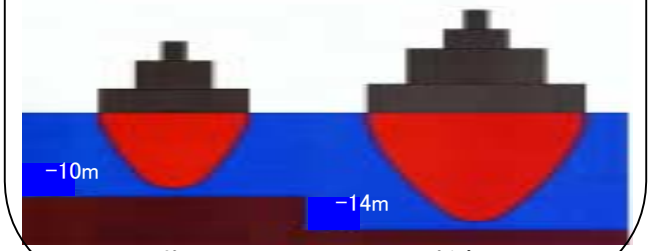
多目的国際ターミナルの整備により、輸送コストの削減を通じた生産の拡大が図られる。その結果、民間投資と雇用増が誘発され、地域の活性化につながる。

・大船渡港、石巻港
　秋田港、酒田港
　相馬港等

多目的国際ターミナルの整備効果

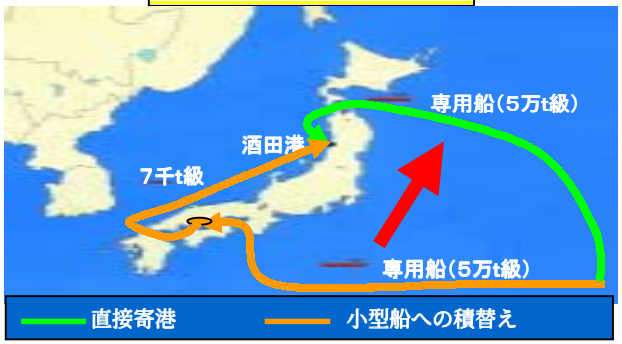
岸壁・泊地水深不足
↓
大水深岸壁整備・泊地浚渫
↓
大型船の利用
↓
輸送コスト削減

大型船に対応した多目的国際ターミナルの整備



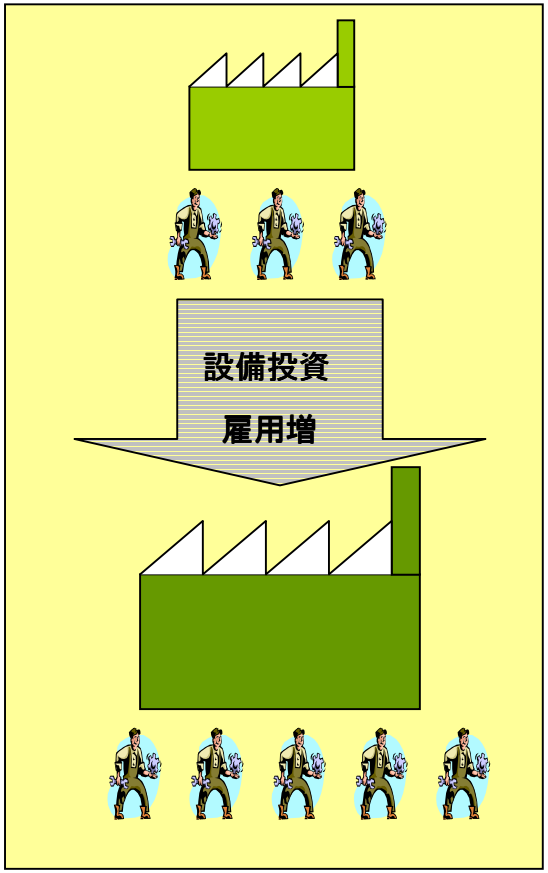
（事例）

大型船の直接寄港



酒田港の場合
約１０%の
輸送コスト削減

生産の拡大



設備投資：各港で数百億円程度

雇用：各港で数十名程度

の誘発

強い東北の創造

統合のメリットを活用した連携

ＩＴ関連整備・活用

光ファイバー網の整備、
ITSの整備

→

防災情報等の提供、
国際的イベント等の支援

○阿武隈川下流光ファイバー整備
○宮城ITSショーケース
○三陸沿岸防災情報
○津波・高潮防災ステーション
○ITによる施設管理の高度化
- ・情報BOXの整備
- ・地盤変状監視
- ・トンネル内ラジオ再放送
- ・CCTVによるリアルタイムな施設管理
- ・管理施設の遠隔操作

○活火山対策（岩手山、磐梯山、吾妻山、秋田駒ヶ岳）
○ITを活用した土砂災害対策

各種災害の初動体制、支援体制の充実



関係機関との情報交換
(画像情報などの提供)



津波及び荒天時の早期避難など初動体制の充実

防災情報連携システムの運用
- ・光ファイバーを活用し、三陸沿岸の国、県、市町村の防災情報の連携、共有
- ・各種災害の初動体制、支援体制の充実

等

魅力ある都市の再生

都市の魅力向上

渋滞対策、水環境の改善

→ 魅力ある都市機能・空間づくり

H14主要事業

○渋滞対策

- ★快適交差点02★の実施
- R45仙台市扇町交差点改良
- 盛岡駅道路交通環境改善事業
- R4盛岡拡幅
- R4郡山バイパス
- R112酒田南拡幅
- 交通結節点改善事業

○水環境の改善

- 広瀬川水環境整備事業
- 盛岡水辺プラザ整備

（R112鶴岡市大宝寺交差点改良による渋滞の解消例）

事　業　前	改　良　後

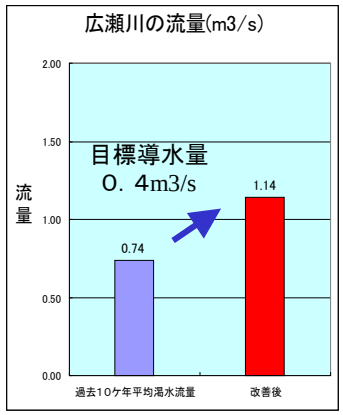
最大通過時間が13分から1分へ



（仙台市広瀬川水環境整備事業概要）

渇水時の広瀬川





美しい東北の実現

統合のメリットを活用した連携

循環型社会の構築・リサイクル

- R6相馬バイパス
  相馬港浚渫土砂の利用
- 松島港シーブルー事業
  汚泥の浚渫や覆砂による海域環境の改善
- 胆沢ダム、長井ダム
  建設伐採木のリサイクル
- 天童市等公共下水道
  下水汚泥のコンポスト化
- R49猪苗代地区
  湖水熱を利用した融雪施設整備
- R7青森環状道路
  メダカビオトープの形成
- 大湊港エコ・コースト事業
  渡り鳥の生息環境に配慮した海岸整備

自然豊かな美しい環境

一般国道6号　相馬バイパスの盛土材として相馬港からの浚渫土を利用。



相馬バイパス盛土材



相馬港浚渫土砂

相馬港

良好な港湾環境の保全と創造を図るため、海域環境の改善（シーブルー事業）を目指し、汚泥の浚渫や覆砂を行っている



松島港シーブルー事業

事業評価、透明な公共事業・ＮＰＯ等との連携

既存ストックの活用

○R48熊ヶ根橋（昭和29年竣工）補修

補強（既存ストックを最大限活用した橋梁拡幅、補強）

○花山ダム（昭和33年竣工）再開発

・既設ダムの再開発による水源の確保

○漆沢ダム（昭和56年竣工）堰堤改良

・既存ストックの継続的効果発現を目指した操作制御設備等の改良

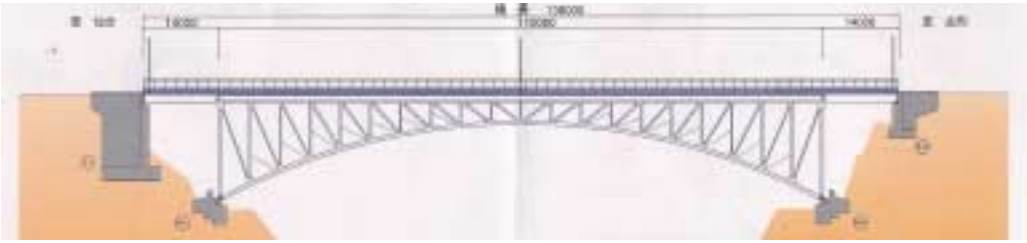
○八戸港耐震バース

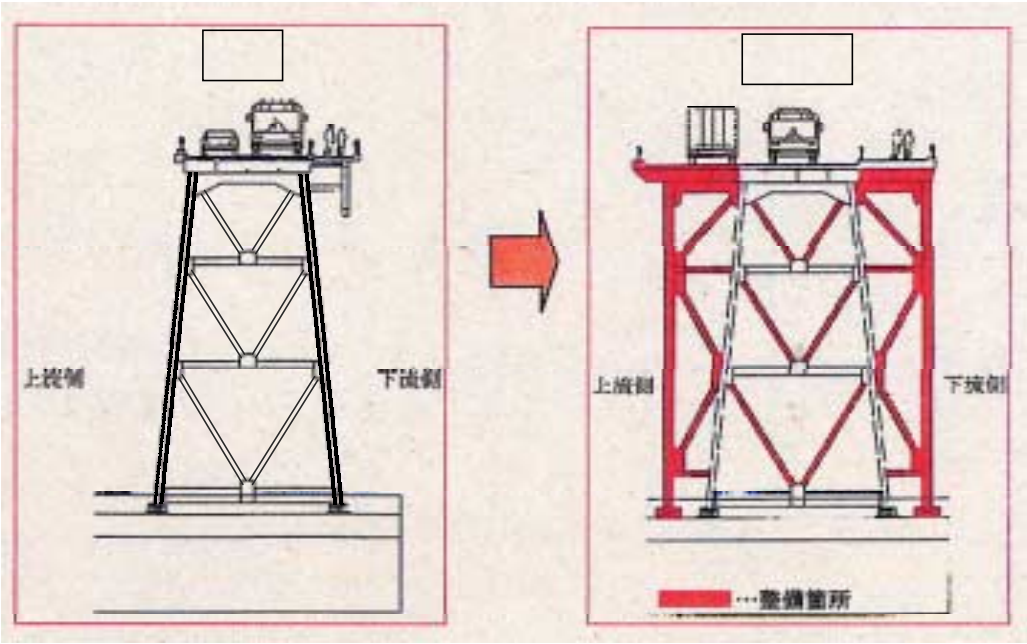
・既存岸壁活用による防災拠点の整備

等

新橋建設に比べ約3割のコスト縮減

（国道48号熊ヶ根橋（仙台市）の例）





地域住民・ＮＰＯ等との連携

○ボランティアサポートプログラム等による道路管理への地域住民参加

○NPO、市民団体等と連携した川づくり

・北上川リバーマスタースクールの開催（環境教育）

・川に親しむためのイベント等の共同開催

○地域連携に基づく官庁施設整備の推進

・地域連携推進計画の策定

・まちづくり懇談会等の開催

・住民主体によるワークショップの開催

・情報プラザによる地元情報の発信

・高齢者、障害者団体とのワークショップの　開催

・地域連携によるまちづくりフォーラムの開催



【山形県余目町　廻館（まわだて）名木保存会】

廻館名木保存会は、国道47号に隣接する天然記念物「廻館のケヤキ」の周囲の緑地帯への植樹・除草を平成3年頃からはじめ、平成12年度には第11回「みどりの愛護」功労者大臣表彰を受賞している。



NPO主催の川についての勉強会
（北上川リバーマスタースクール）

公共事業の効率的・透明性の向上

国民から見た公共事業に対する意識

無駄な公共事業	やり方が悪い	事業内容がわからない
・大規模な事業はいらない ・公共事業は環境破壊	・お金がかかりすぎる ・状況が変化しても、事業を実施している	・都合の悪いものは隠している ・信頼できない

公共事業改革への推進

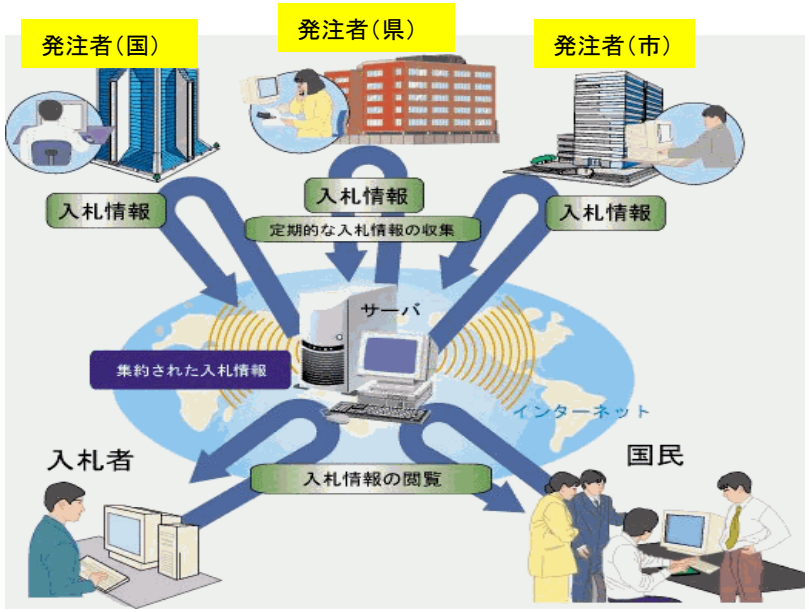
- ●住民参加
- ●透明性の確保
- ●一層の効率化
- ●改革推進の新たな展開

○計画段階からの住民参加（ＰＩの実施）
○説明責任（実施内容をわかりやすく説明）
○ＩＴによる公共事業の革新（建設CALS/ECの推進）
○公共工事適正化の促進（入札及び契約の適正化）
○公共事業の再評価（事業評価監視委員会の開催）

国民から信頼される効率的・透明な公共事業の実施

ITによる公共事業の推進

・IT（情報技術）を用いた建設CALS/ECの積極推進



公共事業の再評価

・よりスピーディーにかつ重点的に事業を実施



事業評価監視委員会開催状況